

入試年度	2025 年度
専攻	生涯教育専攻
課程	博士課程
入試方式	大学院一般博士後期課程 大学院留学生博士後期課程
試験科目	専門
<p>〈出題の意図〉</p> <p>教育学に関する基礎事項・文献を正確に理解し、論理的に思考し、読み解く力を測ることを意図している。</p> <p>また、自己の意図する研究の意義と独自性について論理的に説明する力をはかることを意図している。</p> <p>〈解答例/採点のポイント〉</p> <p>問 1 については、非認知能力の教育学的重要性について、教育学の観点から論理的に説明できているかどうか、問 2 については、自己の意図する研究の意義と独自性について論理的に説明できているかどうか、をそれぞれ採点のポイントとしている。</p>	

入試年度	2025 年度
専攻	生涯教育専攻
課程	博士課程
入試方式	大学院一般博士後期課程 大学院留学生博士後期課程
試験科目	英語
<p>〈出題の意図〉</p> <p>英文は平易で語彙のレベルも標準的です。「単調な生活に耐える能力」という、やや逆説的な文章を咀嚼できるかどうかのポイントです。これに耐えられずに、受動的な刺激を求めて、自ら楽しみを創造することを忘れてしまう、という危険を警鐘しています。構文的には多くの挿入があり、特に最終文の such, for example, as が二重の挿入になっていますので、注意が必要です。</p> <p>〈解答例/採点のポイント〉</p> <p>現代社会は子どもにとっても刺激に満ちています。親は子どもにおもちゃや遊びなど様々な刺激を与えて、それが子どもの成長にプラスになると考えています。しかし、古来から人間の幼少期はもっと退屈で、低刺激でしたが、子どもたちはりっぱに成長してきました。そうした、子どもには「単調な生活に耐える力も必要なのではないか」、という筆者の哲学的な指摘が読み取れるかどうか、を出題のポイントとしています。</p>	